

男女共同参画情報



市民生活課 ☎26-1133

✉seikatsu@city.chichibu.lg.jp

「セクハラ」「マタハラ」「パタハラ」「家事ハラ」「イクメン」「イクボス」

…いま注目の言葉、

あなたは全てご存じですか？

セクハラとは、セクシャル・ハラスメントの略で、性的な嫌がらせや性差別的な言動のことをいいます。セクハラには、異性に対する言動だけでなく、同性に対する言動も含まれます。さらに、働く女性が妊娠・出産・育児をきっかけに嫌がらせを受けたり、解雇や自主退職の強要で不利益を被ったりすることをマタハラ（マタニティ・ハラスメント）といいます。

セクハラやマタハラといった言葉は広く知られるようになりましたが、マタニティ（＝母性）に対して、パタニティ（＝父性）へのハラスメントであるパタハラはご存じでしょうか。パタハラとは、男性社員が育児休暇を申請した

り、子育てのために短時間勤務やフレックス勤務を活用したりする際、職場で嫌がらせを受けたり、制度の利用そのものを妨害されたりすることをいいます。平成26年に日本労働組合総連合会が発表した調査報告では、パタハラを受けた経験があると答えた男性は全体の11・6%に上りました。

また、家事のために残業できないなら雇用しない・昇進させられないといった、家事労働を軽んじた嫌がらせや労働慣行を家事ハラといいます。

イクメンは育児に積極的に参加する男性のことをいい、イクメンをもじった言葉です。部下の仕事と生活の両立を考え、キャリア形成だけでなく、出産や育児にも協力的な上司がイクボスです。長時間の残業やパタハラ・家事ハラが横行している職場では、イクメンになりたくても、「周囲に迷惑をかける」「キャリアに傷がつくかもしれない」とイクメンになれない男性を生み出してしまいます。

男女の区別なく、仕事も家事も



子育ても楽しむことができ、社会の形成には、イクメンを後押しするイクボスの存在が必要不可欠です。

消費生活センターからのお知らせ

製品のリコール 情報は 公表されています



「お客様へ大切なお知らせ」

当社が製造した〇〇の一部の製品に発煙・発火に至る可能性があることが判明しました。事故防止のため、無料で代替品と交換させていただきます。購入店までご連絡：

このような広告を目にしたことはありませんか。これは事業者が自社製品に対してリコールを呼びかけたものです。

リコールとは製品に欠陥があることがわかった場合、事故や再発を防ぐため、法の規定または事業者の判断で無償修理・交換・返金などの措置を行うことをいいます。

〔法に基づくリコール〕

リコールについて明確な定義はありません。消費者基本法第11条に、「国は、国民の消費生活における安全を確保するため…」と定められていることから、製品の種類ごとに法を所管する省庁はリコール情報を公表し、消費者庁も重大事故が発生した旨の情報を得

た場合、公表しています。

一酸化炭素中毒事故を起こした石油温風暖房器、ガス湯沸かし器、発火・火災事故を起こした加湿器の3製品が法に基づきリコールされ、その他の多くは事業者の自主的な判断によるもので、その基準は国際基準規格で実施しています。

〔リコール情報の入手〕

平成27年度中に事業者から報告された消費生活用製品安全法による重大製品事故は885件（消費者庁リコール情報サイトから）で、そのうち、リコールされたのが100件、最も多かったのがノートパソコンのバッテリーパックで次が電気ストープでした。

リコール情報は消費者の目に留まらなければ効果はなく、現に加湿器の場合、リコール後も回収がされなかった製品から発煙、発火、火災が起きました。

リコールは暮らしに深く関わる情報です。テレビや新聞、チラシ、店頭を通して呼び掛けていきます。努めて、情報を得るようにしましょう。対象製品を使い続けると事故を起こす恐れがあり危険です。持っていたら使用を中止し、事業者に連絡しましょう。

秩父市消費生活センター

☎2515200

毎週月～金曜日（祝祭日はお休み）
午前9時～正午、午後1時～4時

通話料無料！防災行政無線の放送内容が聞きづらい場合は電話で確認ができます。

防災無線ダイヤル カクニくん ☎0800-800-5747